



2021年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月15日

上場会社名 株式会社ファンドクリエーショングループ 上場取引所 東
 コード番号 3266 URL <http://www.fc-group.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 克洋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 阪本 浩司 (TEL) 03 (5212) 5212
 四半期報告書提出予定日 2021年10月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年11月期第3四半期の連結業績 (2020年12月1日～2021年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第3四半期	723	2.3	△83	—	△92	—	△73	—
2020年11月期第3四半期	706	△16.9	△38	—	△59	—	△65	—

(注) 包括利益 2021年11月期第3四半期 △46百万円(—%) 2020年11月期第3四半期 △148百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第3四半期	△1.95	—
2020年11月期第3四半期	△1.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年11月期第3四半期	3,265	2,281	69.7
2020年11月期	3,747	2,365	63.0

(参考) 自己資本 2021年11月期第3四半期 2,277百万円 2020年11月期 2,359百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2021年11月期	—	0.00	—	—	—
2021年11月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年11月期の配当金につきましては、現在は未定です。

3. 2021年11月期の連結業績予想 (2020年12月1日～2021年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,780	81.3	140	95.7	100	228.7	85	231.4	2.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年11月期 3Q	37,649,371株	2020年11月期	37,649,371株
2021年11月期 3Q	12,501株	2020年11月期	27,501株
2021年11月期 3Q	37,626,961株	2020年11月期 3Q	37,581,848株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法摘要の範囲の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年12月1日から2021年8月31日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、多くの地域で緊急事態宣言等が長期に亘り発出されるなど、依然として厳しい状況が続き、経済活動や個人消費に大きな影響を与えております。足元では国内における新型コロナワクチンの接種率が急速に向上し、今後はその効果への期待があるものの、変異株の流行など未だ事態収束の見通しは立たず、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業が属する不動産業界では、低金利下での良好な資金調達環境を背景に、国内外の投資家の物件取得意欲は引き続き高い状況にあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響によるワークスタイルや消費行動の変化等についての見極めも含めて、今後の新規物件の取得にあたっては、取得価格と収益性のバランスを慎重に検討することが必要となってきました。

また、太陽光発電業界におきましては、長期間にわたって安定して高い利回りが期待できる点、残価リスクがほぼない点、現在の良好な資金調達環境などによる利回り商品としての需要拡大に加えて、政府のグリーン成長戦略の推進等による後押しもあり、今後も市場の拡大が期待されております。

こうした状況の下、アセットマネジメント事業では、引き続きファンド運用資産残高、不動産等受託資産残高の増加に向けて、投資家ニーズに適合した魅力的な商品開発に努めております。当期につきましては、住宅宿泊・マンスリーマンション事業に関連した事業型ファンドである「FC事業ファンド1号」の募集・販売を行い、本年3月に完売しております。

また、インベストメントバンク事業では、国内不動産において自社開発いたしました東京板橋区の住宅系物件の販売が完了いたしました。また、保有する物件については各種のバリューアップ施策を推進いたしました。なお、割安な不動産への投資・バリューアップを行うべく、国内外の物件のソーシングにも引き続き努めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高723百万円(前年同期比2.3%増)、営業損失83百万円(前年同期の営業損失は38百万円)、経常損失92百万円(前年同期の経常損失は59百万円)、また、税効果会計における繰延税金資産の増加による法人税等調整額の計上により、親会社株主に帰属する四半期純損失73百万円(前年同期の親会社株主に帰属する四半期純損失は65百万円)となりました。

セグメント別の業績は以下の通りであり、売上高についてはセグメント間の内部売上高又は振替高を除いた売上高で表示しております。

<アセットマネジメント事業>

当第3四半期連結会計期間末において、当社グループが運用するファンド運用資産残高は176億円(一部円換算US\$1.00=109.90円)、当社グループがアセットマネジメント業務を受託している不動産等の受託資産残高は207億円となりました。

不動産ファンドにつきましては、アセットマネジメントフィー及びファンド管理報酬等を計上いたしました。証券ファンドにつきましては、外国投資信託の管理報酬等を計上いたしました。また、太陽光発電ファンド事業につきましてもアセットマネジメントフィー等を計上いたしました。この結果、アセットマネジメント事業全体では、売上高366百万円(前年同期比35.9%増)、セグメント利益88百万円(前年同期比19.3%減)となりました。

<インベストメントバンク事業>

不動産投資等部門では、販売用不動産の売却や保有不動産の賃料収入、不動産の仲介手数料等により320百万円を計上いたしました。証券投資等部門では、金融商品仲介業務による報酬等により36百万円計上いたしました。この結果、インベストメントバンク事業全体では、売上高356百万円(前年同期比18.4%減)、セグメント利益23百万円(前年同期比50.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ481百万円減少し3,265百万円となりました。これは主に、のれんが219百万円、販売用不動産が205百万円減少したことなどによるものです。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ397百万円減少し983百万円となりました。これは主に、借入金が363百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ84百万円減少し2,281百万円となりました。これは主に、利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純損失73百万円の計上、配当金の支払いにより37百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における連結業績は上記のとおりであり、2021年1月14日付で発表いたしました連結業績予想に変更はありません。なお、今後の業績等につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大やその収束時期など様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後、何らかの変化がある場合には速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	821	590
売掛金	17	36
未収入金	149	45
有価証券	78	104
営業投資有価証券	337	344
販売用不動産	1,245	1,040
未成工事支出金	65	82
その他	44	38
流動資産合計	2,761	2,284
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12	10
工具、器具及び備品(純額)	12	19
土地	402	402
有形固定資産合計	427	432
無形固定資産		
のれん	219	—
その他	0	3
無形固定資産合計	219	3
投資その他の資産		
投資有価証券	106	138
その他	232	406
投資その他の資産合計	338	544
固定資産合計	985	981
資産合計	3,747	3,265
負債の部		
流動負債		
短期借入金	324	170
1年内返済予定の長期借入金	39	33
未払金	80	48
未払法人税等	—	4
賞与引当金	—	13
預り金	12	2
前受収益	15	16
その他	54	50
流動負債合計	527	340
固定負債		
長期借入金	826	623
その他	26	19
固定負債合計	853	643
負債合計	1,381	983

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,179	1,179
資本剰余金	672	674
利益剰余金	467	356
自己株式	△1	△1
株主資本合計	2,317	2,208
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41	68
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益累計額合計	42	69
新株予約権	3	3
非支配株主持分	1	0
純資産合計	2,365	2,281
負債純資産合計	3,747	3,265

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年12月1日 至2021年8月31日)
売上高	706	723
売上原価	345	396
売上総利益	360	326
販売費及び一般管理費	399	410
営業損失(△)	△38	△83
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	4
補助金収入	6	4
為替差益	—	2
その他	0	3
営業外収益合計	10	15
営業外費用		
支払利息	19	20
資金調達費用	6	3
為替差損	5	—
その他	—	0
営業外費用合計	31	24
経常損失(△)	△59	△92
特別利益		
連結除外関連利益	—	4
その他	1	—
特別利益合計	1	4
特別損失		
その他	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△57	△88
法人税、住民税及び事業税	3	9
法人税等調整額	3	△23
法人税等合計	7	△14
四半期純損失(△)	△65	△73
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△65	△73

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)
四半期純損失(△)	△65	△73
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△83	26
為替換算調整勘定	△0	0
その他の包括利益合計	△83	27
四半期包括利益	△148	△46
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△148	△46
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法摘要の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、連結子会社であったML2(同)及びML3(同)は支配力基準により実質的に支配していると認められなくなったため連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

1. 連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(2020年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

2. 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う会計上の見積り

前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報)(新型コロナウイルスの感染拡大に伴う会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	アセットマネ ジメント事業	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門	証券投資等部門	
売上高				
外部顧客への売上高	269	426	11	706
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	269	426	11	706
セグメント利益又は損失(△)	109	69	△21	157

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	157
セグメント間取引消去	3
全社費用(注)	△198
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△38

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	アセットマネジメント事業	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門	証券投資等部門	
売上高				
外部顧客への売上高	366	320	36	723
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	366	320	36	723
セグメント利益	88	5	18	111

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	111
セグメント間取引消去	2
全社費用(注)	△198
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△83

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「アセットマネジメント事業」セグメントにおいて第1四半期連結会計期間より、連結子会社であったML2(同)及びML3(同)は支配力基準により実質的に支配していると認められなくなったため連結の範囲範囲から除外しております。

なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間においては215百万円であります。